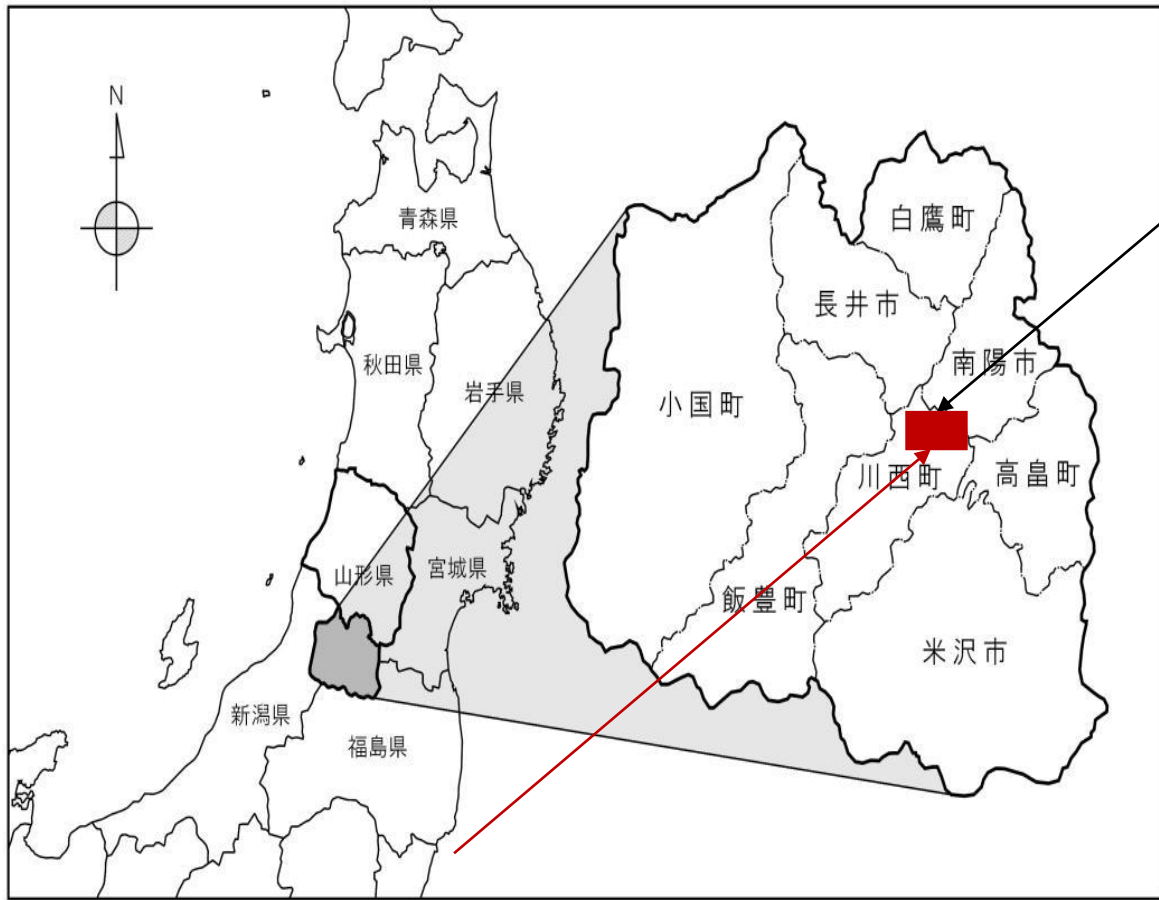


過疎地における地域運営組織形成に伴う人的課題

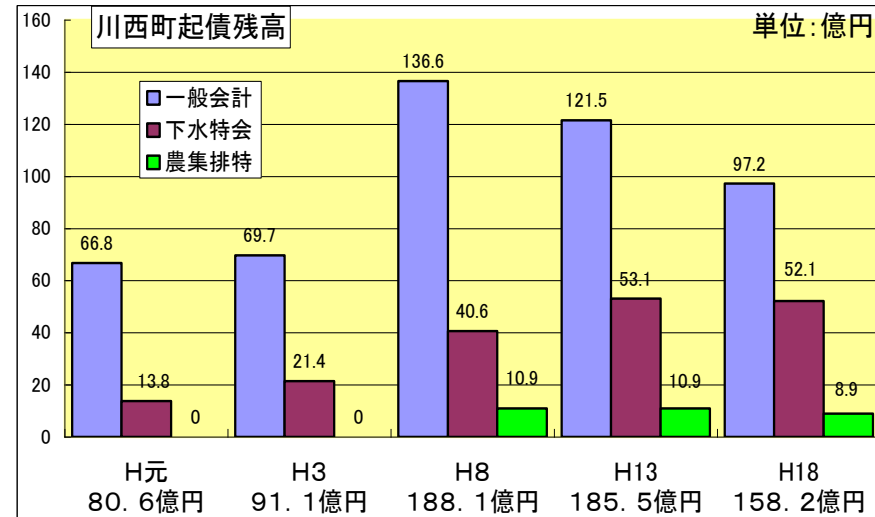


特定非営利活動法人 きらりよしまネットワーク



■川西町

- ・面積 166.6 Km²
- ・人口 15,727人
- ・世帯数 5,133世帯
- ・井上ひさしの出身地
- ・町の花 ダリア



2002 地区公民館を公設民営化 (7地区の社会教育振興会に管理等委託)

2004 6月まちづくり基本条例制定

2006 地区公民館の指定管理者制度導入 第4次川西町総合計画

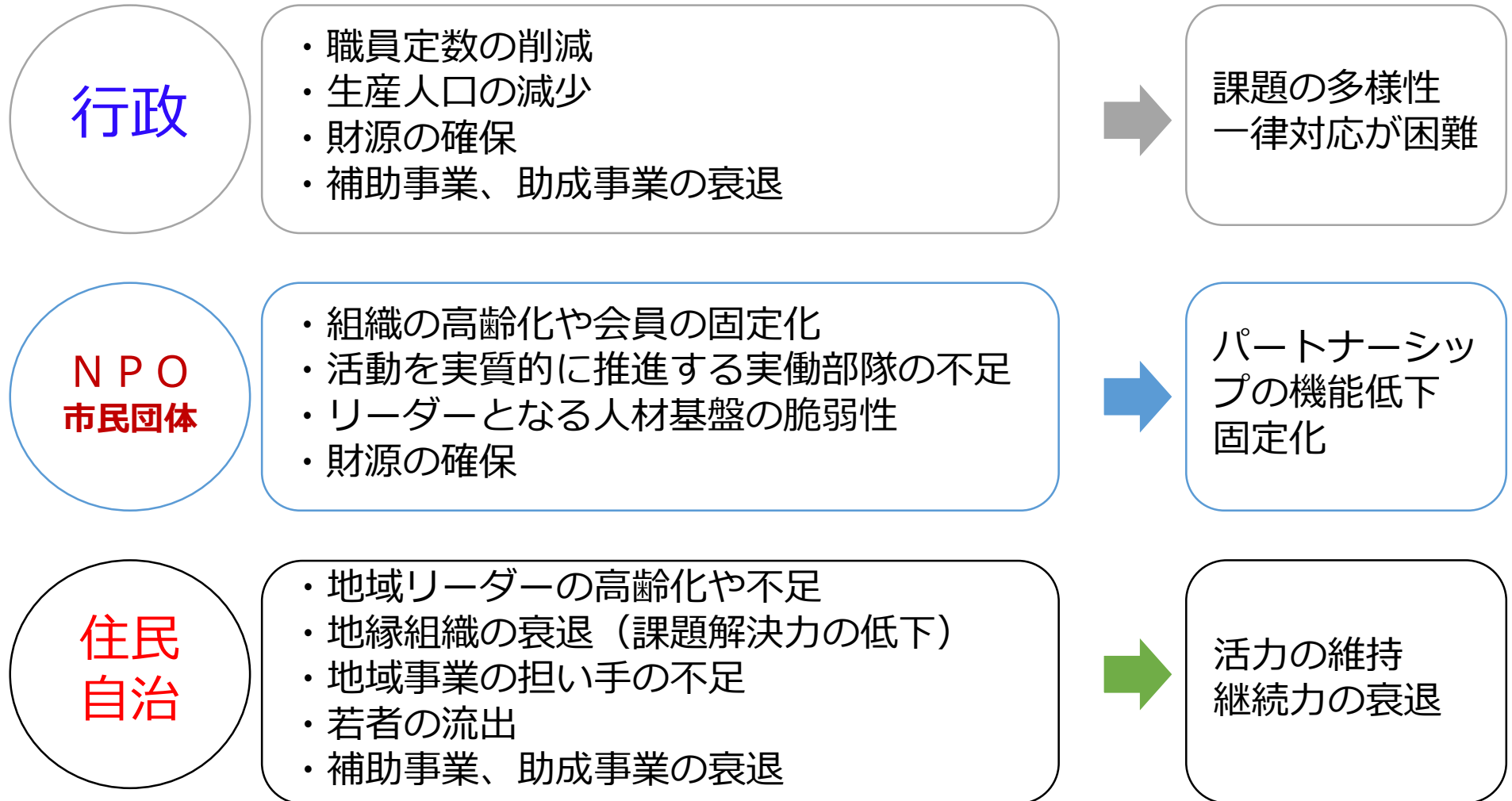
まちづくりのテーマ: 発見・協働・実現から「地域再生」へ

(将来の地区経営母体設置と地区計画の策定着手・地区担当職員制導入・交付金制度創設)

2008 地区交流センター化検討委員会設置

2009 地区経営母体の設立 (指定管理者) (交付金増額)

協働によるまちづくりの課題



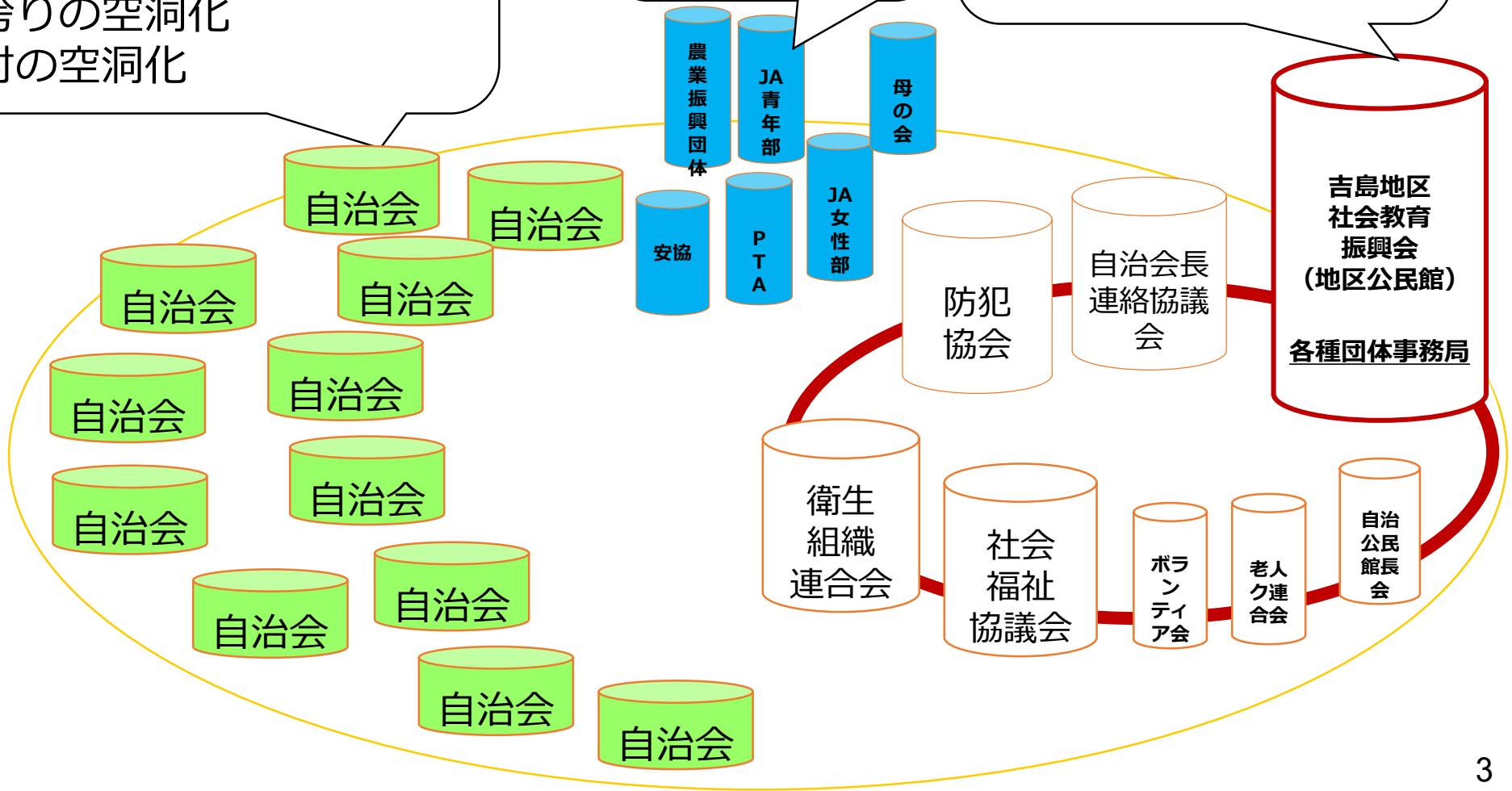
それぞれの自立が必要！

形骸化している地域の現状 (2002)

自治会も空洞化が加速化
 人の空洞化
 土地の空洞化
 誇りの空洞化
 村の空洞化

組織の衰退
 高齢化
 担い手不足
 リーダー不足
 資金不足

役員の重複・高齢化
 事業の担い手不足
 マンネリ
 縦割り
 ニーズに対応できない



住民の対話による地域づくりを推進

設立までのステップ 2001~2007

1. 各種団体と会計をまとめて合意形成を一元化
2. 計画に基づいた地域づくり (地区計画策定)
3. スピードのある課題解決と担い手育成を仕組化
4. 全世帯加入NPO法人として地域再生 (自立)



きらり設立
社教振解散
定款策定

地区計画策定

地区計画策定

地区計画策定

住民WS

住民WS

住民WS

住民説明

住民説明

住民説明

2002 地区公民館
公設民営化

非公式検討時期

機構改革案提案

2001~2003

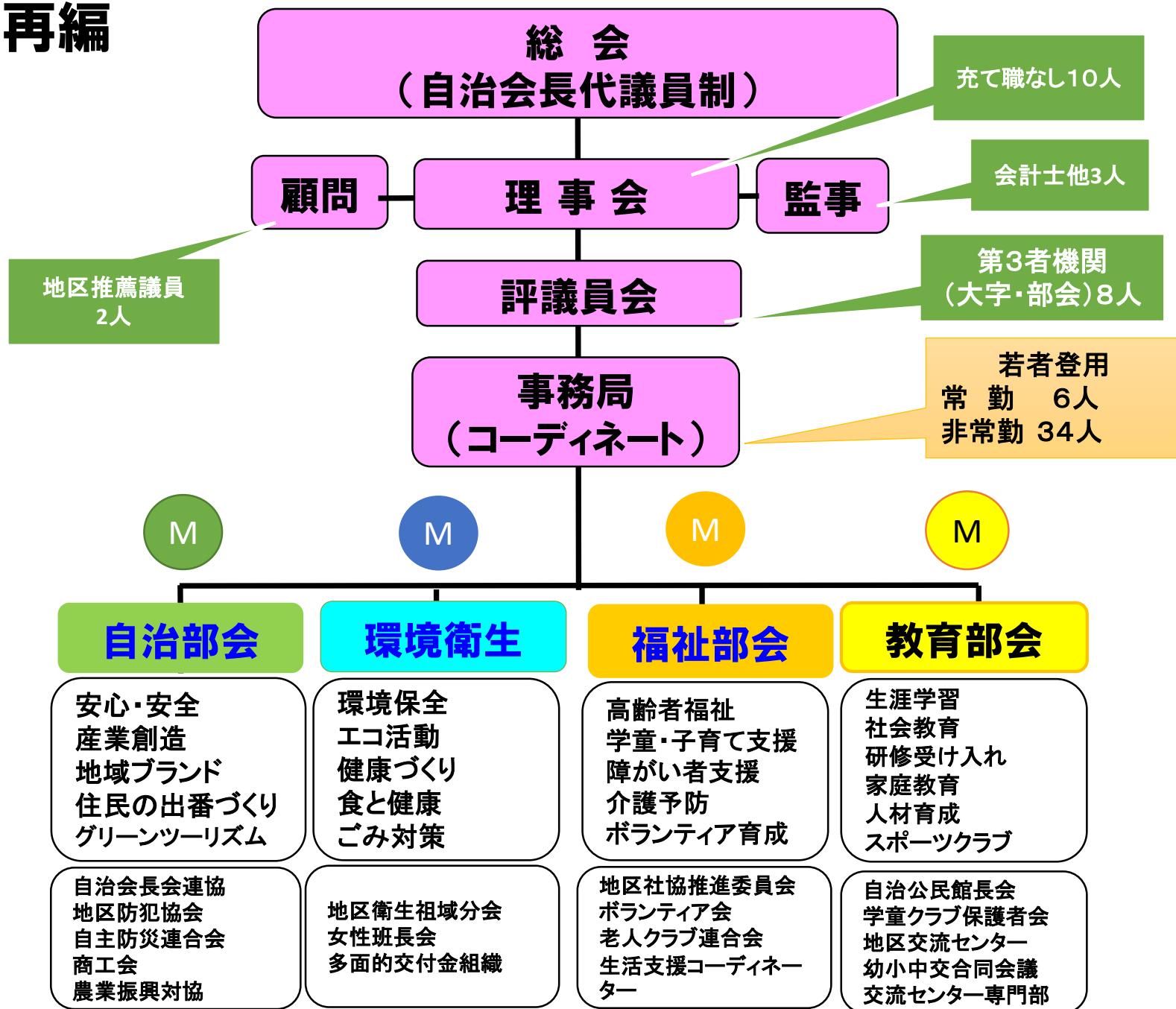
2004

2005

2006

2007

組織再編



地域の将来ビジョンを描く <第3次(2017~2021)地区計画の体系>

将来像 基本目標 分野別目標 施策の柱 行動領域 実施計画

きらりよししまの創造
人が輝き、喜びを見出し、笑顔と潤いのある里

明日へのつながり
歴史と文化を守り、人とひとが築く

自治部会
誰もが住みたくする人にやさしいまちづくり

- ・住民参加による交流基盤の拡充
- ・地域資源を活かした地域内協働による産業の活性化
- ・住民の安全・安心の地域づくり

取り組む
内容と事業

環境衛生部会
自然にやさしい里づくり

- ・燃やさない、捨てないよしじま
- ・環境にやさしいよしじま
- ・健康の里よしじま

取り組む
内容と事業

福祉部会
安心して暮らせる、つながりある吉島

- ・地域ぐるみの子育て支援
- ・みんなが見出す生きがいづくり
- ・地域で暮らし続けるための生活支援

取り組む
内容

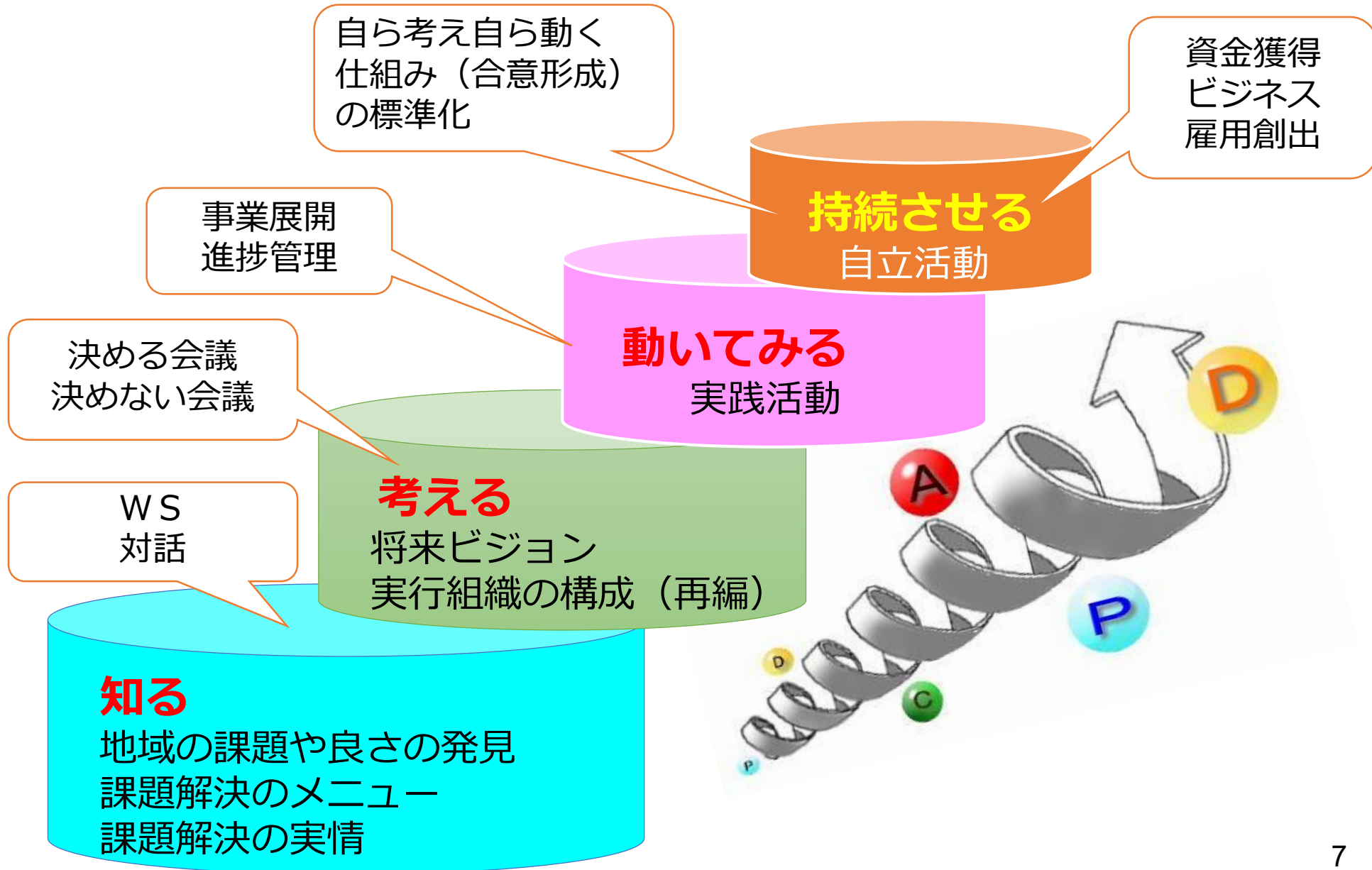
教育部会
みんなが生きがいを見出し楽しく学べる吉島

- ・地域リーダー育成と住民資質の向上
- ・元気な心と体で生きがいを見出す生涯学習
- ・地域教育力の向上

取り組む
内容

テーマ: 夢をカタチに想い織りなすまちづくり

地域が自立するまでのプロセスデザイン



住民の起業をサポート



地域食堂・子ども食堂「まんま屋」の運営



超高齢社会の包括的ケア対応として、生活支援や居場所（サロン）の確保、食事サービス等ができる環境を整備し、既存の加工施設と連動した産直兼ミニレストランの設置による住民雇用の創出

東京のチャレンジショップでの販売（高齢者の所得向上）



商品開発



「きらり産直市場」住民所得の向上





よしじま燦燦塾

高齢者買物支援・見守り



お届け・見守り・御用聞き



配送



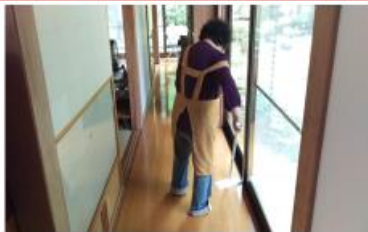
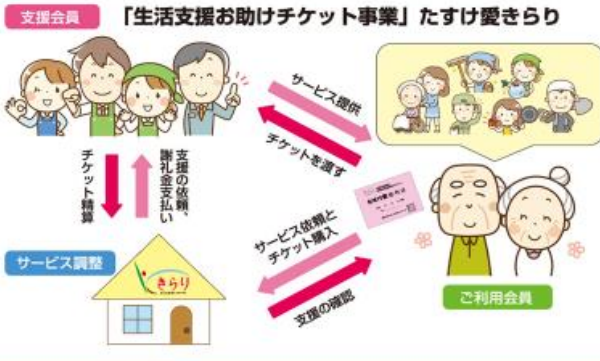
お店

発注

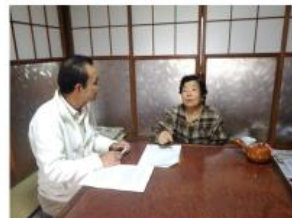
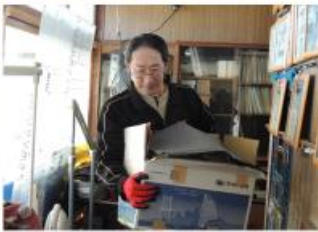
「生活支援チケット」(有償ボランティア)

～たすけ愛きらりのしくみ～

困った時にお電話一本で、たすけ愛きらりがお手伝いして下さる支援会員をご紹介します。



ICTでお買い物・見守り



総合型地域S Cマイミスポーツクラブ



買い物・お出かけサービス



再チャレンジ塾（教える立場で地域に再デビュー）



居場所の拡充



自主防災組織連合会



防災協定でコスト削減

要援護者サポーター

自主防+商工会
地域内防災協定



援護登録者数：22名 超高齢57名

- ・日中サポーター：48名
安否確認や声掛け（ボランティア会）
- ・夜間・休日サポーター56名
安否確認・災害時対応（隣組）
- ・除雪支援（自治会22）



ひとりにしない
ひとりじゃないと思ってもらう

よしまっ子おはよう隊



おはよう
ございます！
元気ですか♡

子どもたちも支えあいの一員
高齢者見守りに一役



ありがとうね♡



放課後児童クラブ きらり

児童数86人(1~6年) 2クラス制
19:30まで(第1・3土曜開所)
放課後子ども教室との連携型
支援員7人(常勤1人・非常勤6人)

学習指導、習い事コースあり



学びと実践から人とひとつながる (教育と地域の産業)



キッズジョブスクール



働く

学びと実践から人とひとつながる (教育と地域の産業)



わんぱくキッズスクール



仲間
命
食育
リーダー



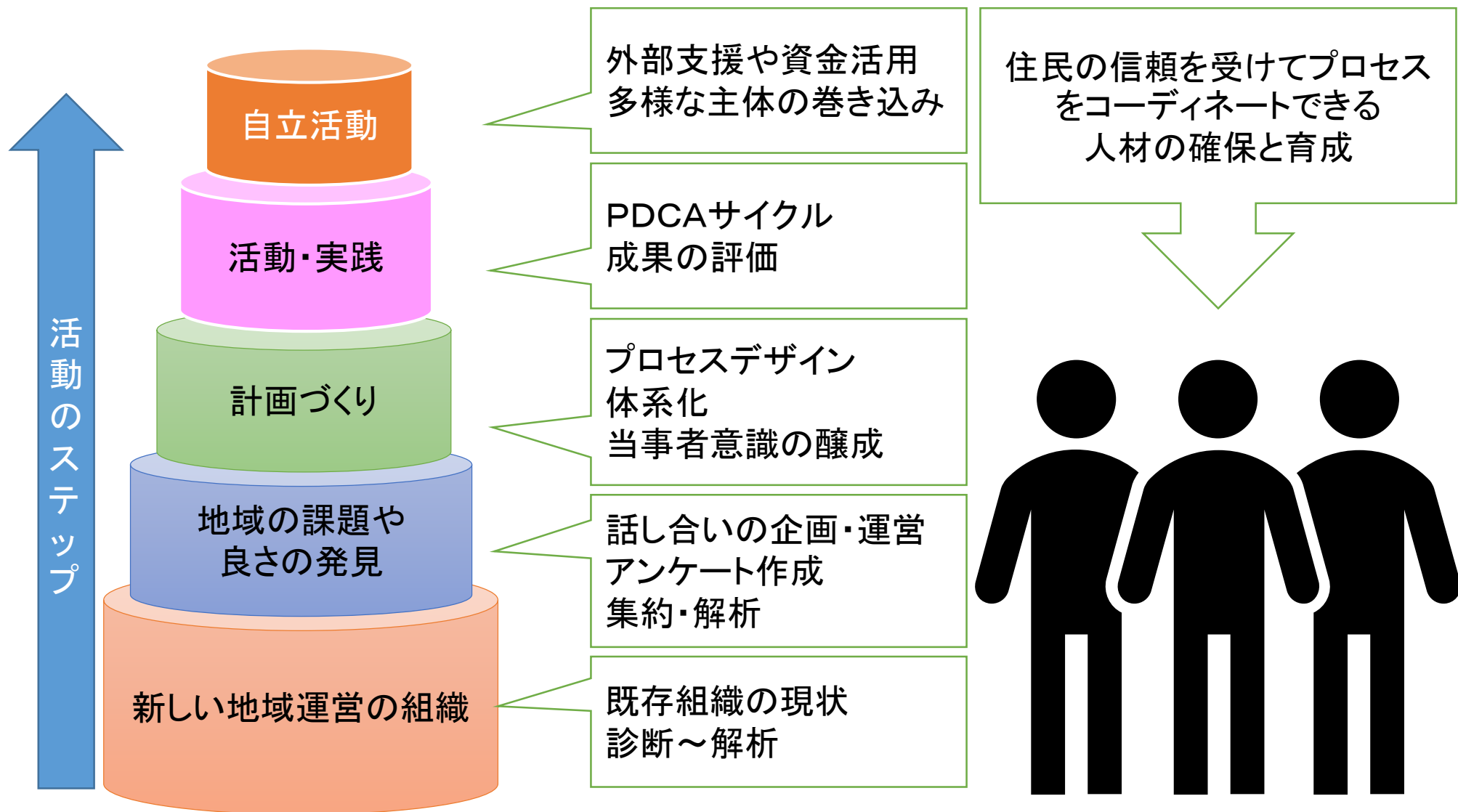
中高生のボランティア活動



青年活動育成



活動のステップとハードルを乗り越える人材育成



人づくりを仕組み化する

コーディネーター（マネジメント力）

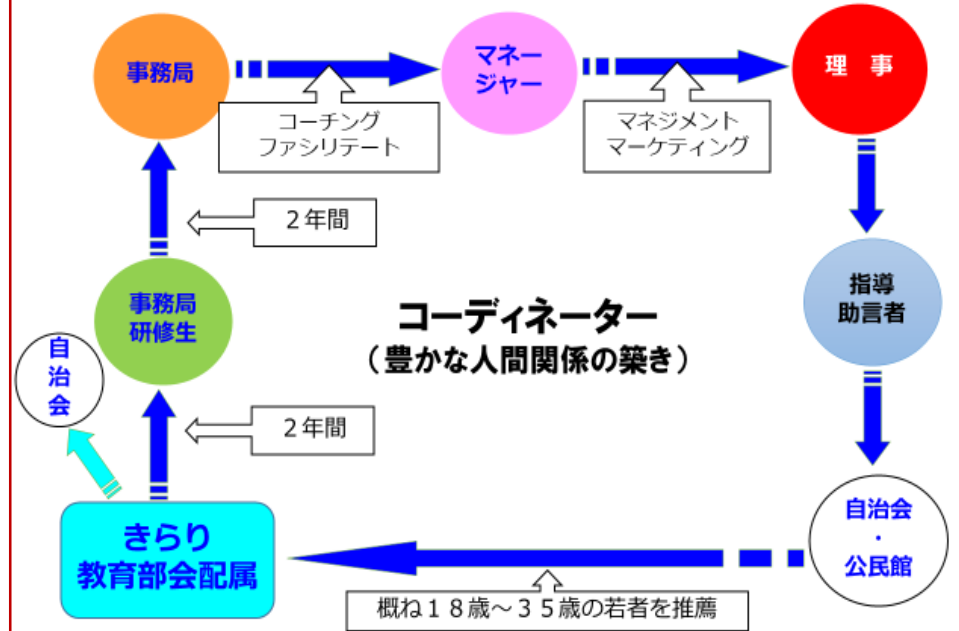
地域づくりの組織を円滑に経営するための人材

プレイヤー（コミュニケーション）

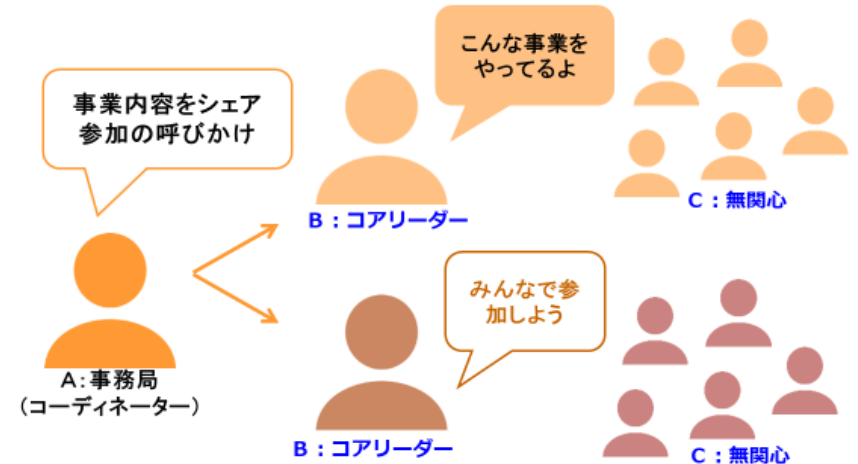
組織が行う事業を円滑に運営するための人材

組織の事業に参加して成果が出せる人材

人が生まれ育ち上手に世代交代していくために



人と人がつながって
地域づくり活動を広げていくためには



地域活動から満足を得ている人を探し出せ！

よそ者を受け入れる土壌づくり

関係人口



ゆめ未来MTG
よそ者の知恵を借りる

きらりのブラッシュアップをよそ者が支援



イベント活動



インターンシップ



調査活動



課題解決活動 (WS)

ようこそ！
困ったことがあれば相談してね

自治会

ようこそ！！
自治会の内容について説明します。
自治会に入ってきらりに加入した方がいろんなサービスがあるので何かとお得ですよ

自治会長
隣組長

移住してきました。
自治会活動や地域活動について不安です

よくわかりました。
加入させていただきます。

移住された方

山形県地域運営組織形成 地域づくりのプロセスデザインを支援



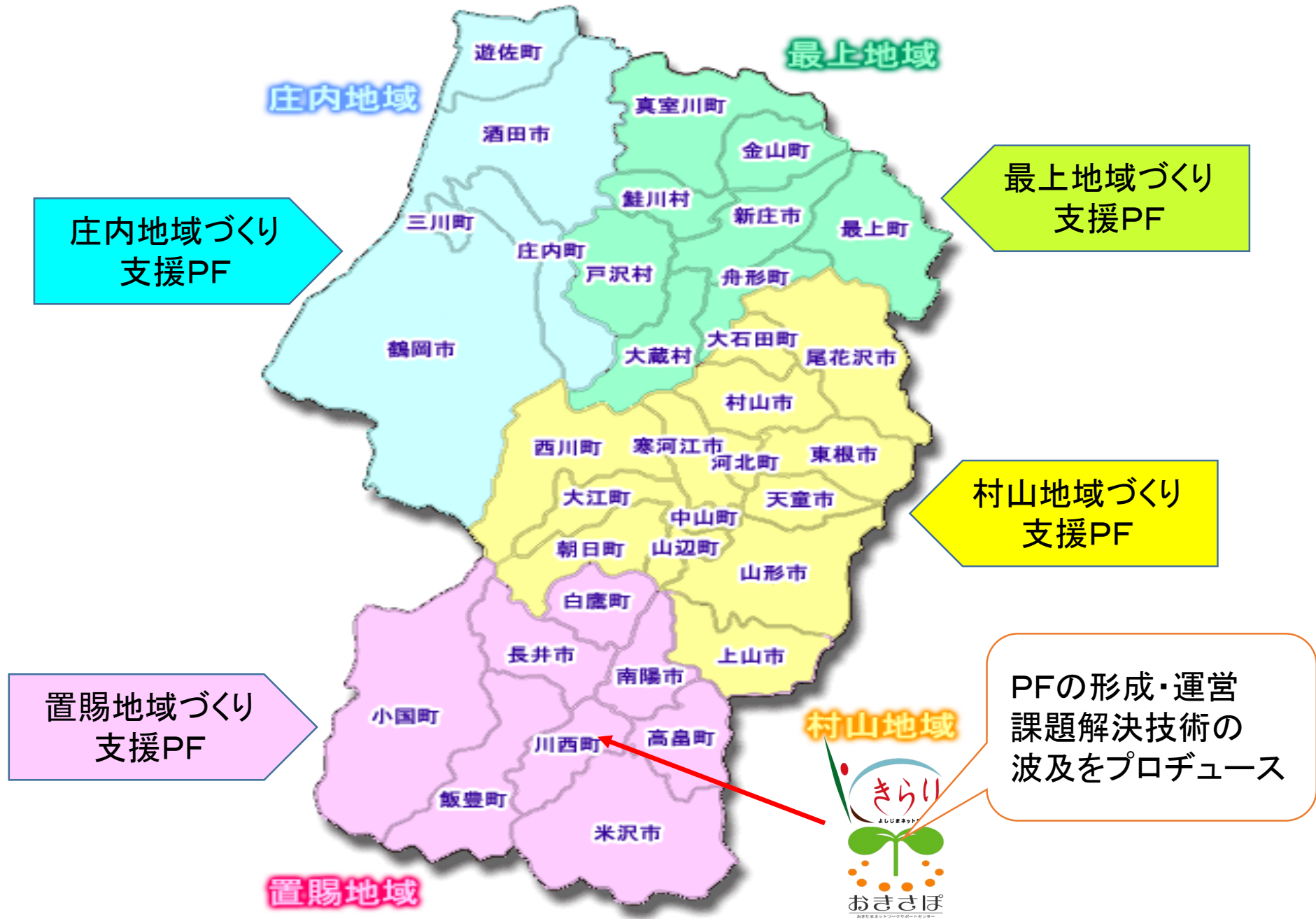
おきたまネットワークサポートセンター
事務局長 高橋由和



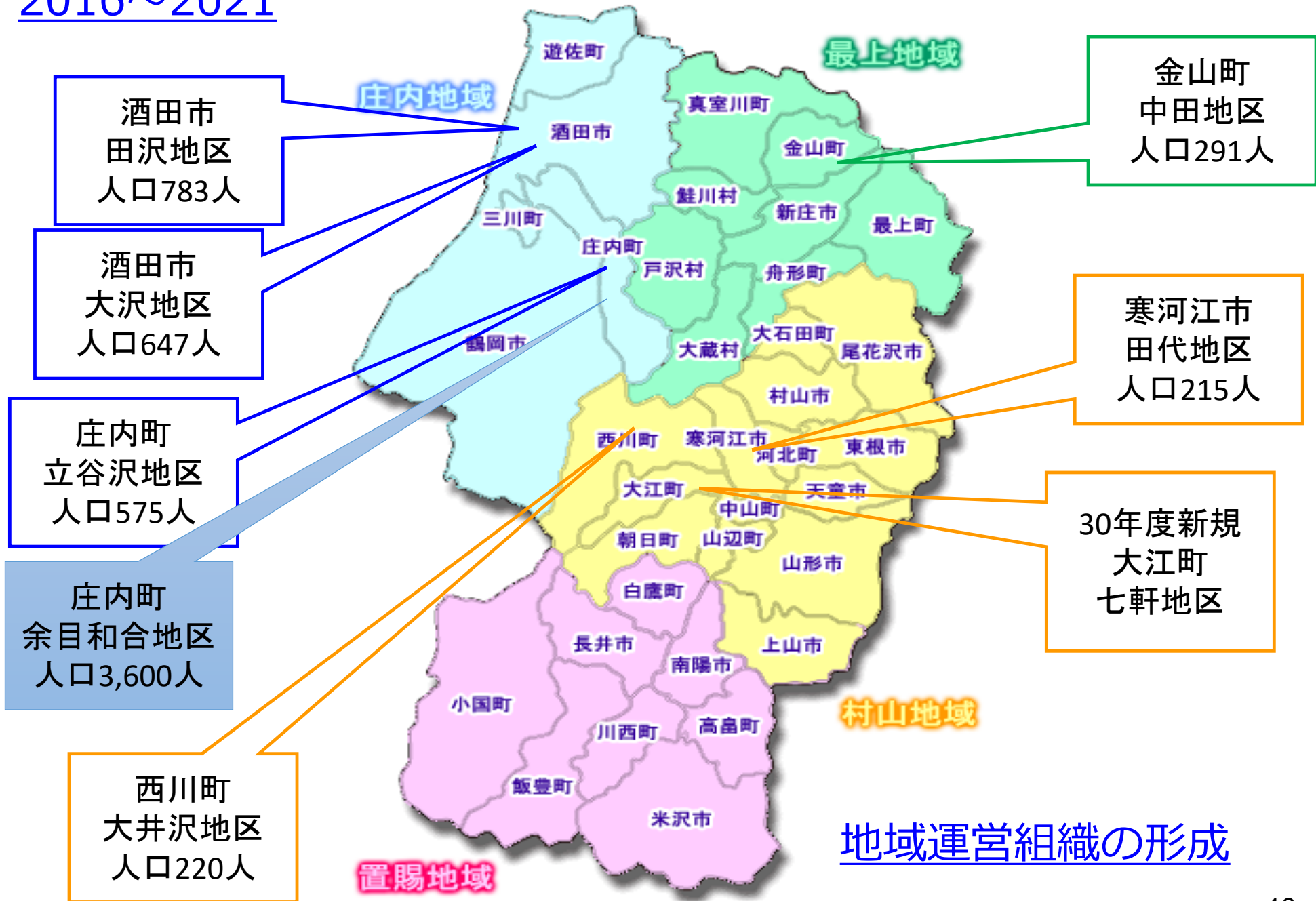
おきたま ネットワークサポートセンター

山形県置賜地域 3市5町

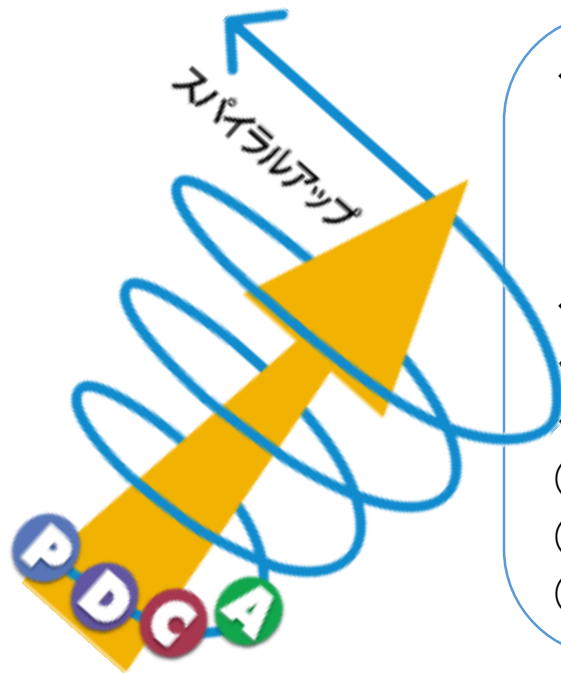
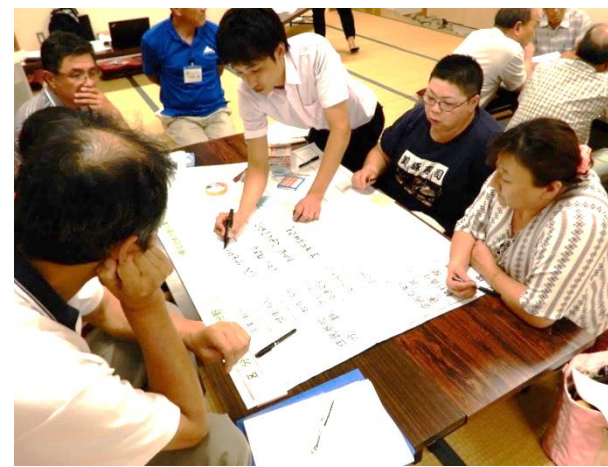
- ・2005 ネットワーク型中間支援組織を形成
- ・参画団体 45団体(NPO・市民団体・行政)
- ・業務内容 相談窓口(全県網羅)
アドバイザー派遣
地域運営組織形成コンサル
研修等の設計、運営
人材育成
- ・活動資金 山形県からの事業委託
県内外市町村からの事業委託



2016~2021



地域運営組織の形成



◆集落調査票の作成と実施

- ①人口・世帯数の動向
- ②地域づくりの担い手
- ③集落行事の維持、管理

◆住民ワークショップ(地域の困りごと(課題)についての話し合い)

◆住民アンケートと解析(中学生以上)

◆組織診断(現行の実態を調査するため組織診断票を作成しに調査。)

- ①活動基盤の整備②連携体制の確立③理念の共有
- ④自発的組織特性⑤日常生活圏⑥事業の多様性
- ⑦当事者意識の定着

現実を知る

地域を知る
(数字)
(視覚)
(教えあい)

探す
(良いところ)
(悪いところ)

考える
課題解決
計画

動いてみる
事業
活動

確認する
PDCA

地域カルテ

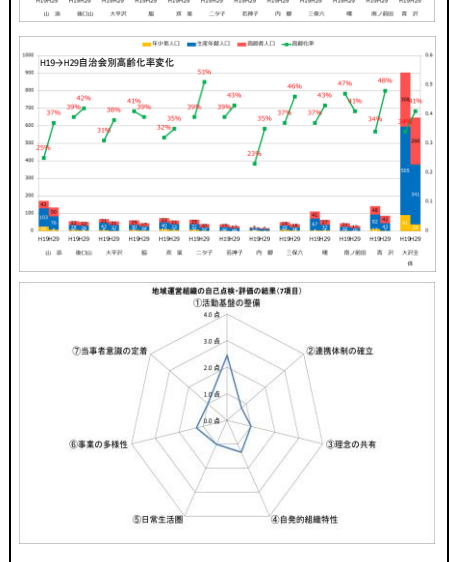
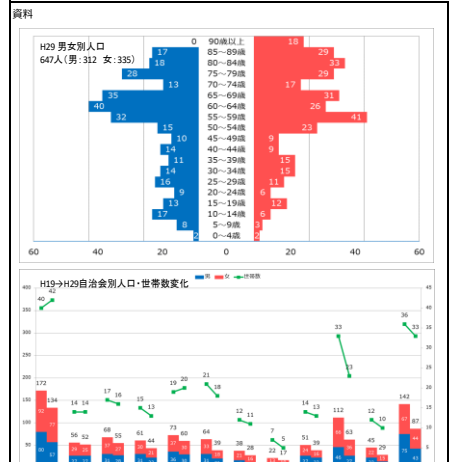
酒田市大沢地区 コミュニカルテ

市町村名 酒田市 市町村人口 105,045 地区名 大沢地区	位置図
組織名 大沢地区コミュニティ振興会	
設立年月日 平成 21 年 4 月 1 日	
現住所 〒999-8215 酒田市大沢字ニタ子21番地	
TEL 0234-64-2824	
FAX 0234-64-2824	
MAIL	

診断区分	診断内容
集落調査から見える課題	<ul style="list-style-type: none"> 地域づくりの主要メンバーが高齢化していることで今後、担い手の確保が懸念される。 若年層が少なく、将来の地域産業、地域内の共同作業、高齢者支援の担い手不足が深刻である。 山岳地区以外ほとんどが20世帯以下であり、集居自治の再興の必要がある。 世帯数の減少による空き家等の増加が懸念される。 大平沢の除草作業等が有来、維持していくのに困難を感じている。 商店が少なく日用品の供給に難がある。
組織診断から見える課題	<ul style="list-style-type: none"> 事業の継続や維持のための受益者負担の意識が低い。 組織や活動を運営する際の外部支援による研修機能がない。 組織形成のための行政による支援や相互連携が希薄。 地域内の各種団体等との連携や地域づくりの共有ができていない。 事務局以外の次世代を担う人材育成ができていない。
住民アンケートから見える課題	<ul style="list-style-type: none"> 除雪支援の重要性を感じているものも、満足度は低い。 住民同士の付き合いが希薄化しており、防災や防犯についても将来への不安がある。 地域づくりの担い手育成について重要度は高いが、十分に育っていないという認識が強い。 高齢化や人口減少に伴い、移動手段の確保や農地や山林の維持管理の不安がある。 鳥獣被害対策への期待が高い。
ワークショップの内容から見える課題	<ul style="list-style-type: none"> 若者の流出によって担い手が不足。 参加者の固定化と特定の個人に過度の負担がかかっている。 地域の交流事業への不参加や参加回数（企画の開催や泊りわずらわしさ）。 高齢化による活動人口の激減と、女性の活動の場が少ない。 鳥獣被害の深刻化。

今後の活動に必要と思われること	
人口減少対策	<ul style="list-style-type: none"> 若年層の結婚、出産、子育て等のニーズを捉えた支援や事業の展開。 若者の地区外流出を抑制するため、高校や地元企業との連携による雇用促進と地域内での起業促進。 交流人口の拡充を図り、関係人口の増進につながる外部支援の検討。
高齢者・生活支援対策	<ul style="list-style-type: none"> 2025年以降の団塊世代の後期高齢者移行に伴う、高齢者の健康や、生活に関する新たなニーズ調査。 既存の老老世帯、老人独居世帯へ地域運営組織としての支援体制の構築。 生活支援等を行う人材及び包括的なネットワークづくり（生活支援コーディネーターの配置）。
子育て支援対策	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育、学校教育、社会教育それぞれの役割を明確化と、子育てや青少年健全育成の体制の構築。 子どもの遊び場確保や遊びの工夫による見守りと、交流の拠点づくり。 小中学生を交えた世代間交流や、青少年時分からの地域ボランティアの育成。 週末、長期休みの児童の受け入れ拠点として、放課後子ども教室等の検討。
環境保全	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化率の高い自治会や人口減少が著しく、環境保全の共同作業等が困難な自治会への支援。 外部からの自給を考慮した、地域内環境美化や生産加工活動等への取り組み。 鳥獣被害対策、多面的機能付与事業等と併せた地域の環境保全活動の推進。
産業・観光	<ul style="list-style-type: none"> 地域運営組織の活動を支える資金づくりや住民の所得向上を支える小さな経済の導入。 地域資源活用による交流や研修受入ビジネス等、外部支援とつながり地域に収益が見込める事業展開。 体験活動や特産品販売等をパッケージ化し、産業を創出する。
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> 組織体制の再構築と合意形成。 活動を支える自己資金確保の受益者負担の理解と協力の仕組みづくり。 企業や大学等との連携や外部支援を得るための協働の場づくりと、具体的な実践の場づくり。 住民ニーズを捉えるための住民同士の話し合いの設計と運営手法の習熟。 交流人口拡充のために地域や都市部との積極的な交流の受け皿をつくる。
自治会運営	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少や流出が多い自治会等では、将来の生活不安に寄り添った集居自治運営について議論し、地域再生に向けた取り組みを地域運営組織がコーディネートする。 若い世代と中高年層の話し合いの場づくり。 限界自治会の統合や連合自治会運営等の組織改革の検討。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 地域運営組織の活動を持続可能なものにしていくためには、組織の役員や、事務局、課題解決分野に参加する人材育成の仕組みと定着を図る必要があります。組織運営のセッションに合わせて、持つべきスキルを明確にして学びと実践を繰り返す環境をつくりましょう。

地域概要
大沢地区は、平成17年11月に新潟酒田市に合併となった旧八幡町の一地区です。酒田市の中心部より北東に15km、八幡地域の中心地からは東へ5kmの位置に大沢コミュニティセンターが立地しています。
2地河川日向川の支流：荒瀬川に沿って集落が点在しています。居住地域の最奥部は旧八幡総合支所（旧八幡町役場）から東へ10km、さらにその5km東で最上郡真室川町と接します。交通は国道344号が地域の中心を東西に走っており、古くは養蚕、林業・製材業、現在では稲作農業を中心とした中山間地帯ですが、高齢化が進捗し基幹産業の農業もほとんどが兼業化されています。冬場は最深部では2mもの積雪に見舞われますが、平成初期までは冬期閉鎖となっていた通称「青沢越え」も幹線国道の雪害対策工事・除雪体制が整備され、現在では県内陸部への通年通行が可能となっています。



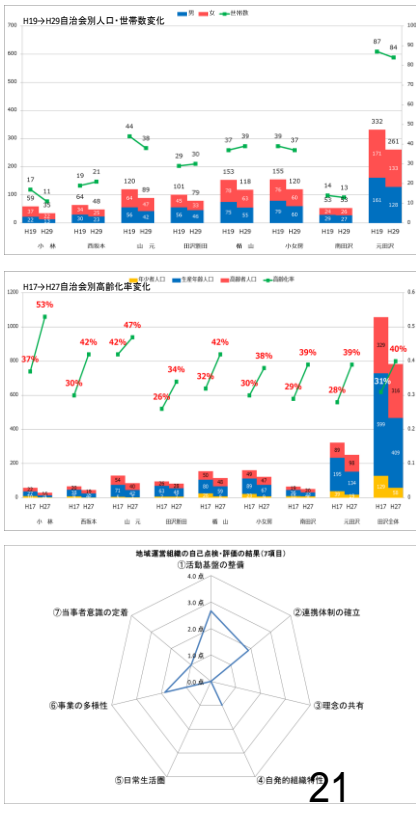
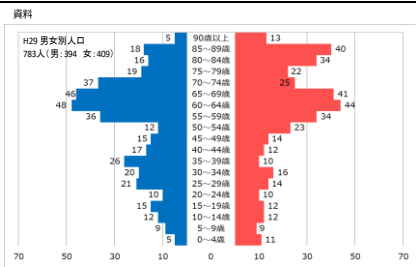
酒田市田沢地区 コミュニカルテ

市町村名 酒田市 市町村人口 105,045 地区名 田沢地区	位置図
組織名 田沢地区コミュニティ振興会	
設立年月日 平成 21 年 4 月 1 日	
現住所 〒999-6731 酒田市田沢字道の外105	
TEL 0234-54-2542	
FAX 0234-28-8618	
MAIL tazawacom@cocca.plala.or.jp	

診断区分	診断内容
集落調査から見える課題	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化率が高まるとパワー不足が見える。 小林、西坂本、田沢沢では世帯数の減少と高齢化により、共同作業の人手不足や特定の個人へ負担が推測される。 世帯数減少による空き家への対応、高齢化の高い集落への支援ができる人材を確保できるか。 生活用品を求めると物理距離への対応が困難。 環境保全に係る人手の確保や維持管理について、将来の不安を抱えている自治会が多い。 機材等がまだ機能しており、生活用品の備品はあるが十分とは言えない。 距離が4回/日走るが、時間がかわない等の課題がある。
組織診断から見える課題	<ul style="list-style-type: none"> 地域運営組織内で理念の共有がされていないと、住民に対して住民主体のまちづくりの理解を得ることは難しい。 地域活動を持続するための活動資金の確保や、受益者負担の意識改革をどのように仕組化するか。 組織の編制に伴った人材育成と、組織全体の当事者意識の欠如。 日常生活圏にある各種団体等と相互補充する関係性が弱い。 課題解決に取り組むための地域づくりの人材確保と育成ができていない。
住民アンケートから見える課題	<ul style="list-style-type: none"> 住みたい理由として地域の景観や自然豊かなところが好きだが、反面高齢化による生活支援や備前対策、交通等について課題意識の高い声が多い。 除雪や防災について重要性を感じているが満足度は低く、将来への不安を感じている。 鳥獣被害が深刻化している。 地域づくりの担い手育成の機能がない。
ワークショップの内容から見える課題	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者支援が必要であるが地域に支え合いのつながりができていない。 住民同士のコミュニケーション不足により、安心安全保たれていない。 高齢化による活動人口の激減（目的の対応への不安）。 自治会や地域全体の行事への参加者の固定化。 鳥獣被害の深刻化。

今後の活動に必要と思われること	
人口減少対策	<ul style="list-style-type: none"> 若年層の結婚、出産、子育て等の一連のニーズを捉えた支援や事業の展開。 若者の地区外流出を抑制するため、高校や地元企業との連携による雇用促進と地域内での起業促進。 交流人口の拡充を図り、関係人口の増進につながる外部の支援受け入れの検討。
高齢者・生活支援対策	<ul style="list-style-type: none"> 2025年以降の団塊世代の後期高齢者移行に伴う、高齢者の健康や生活に関する新たなニーズ調査。 既存の老老世帯、老人独居世帯への地域運営組織としての支援体制の構築。 行政と連携した生活支援コーディネーター（第2層・第3層）の設置による支援体制の構築。
子育て支援対策	<ul style="list-style-type: none"> 青少年健全育成事業（公民館活動）等の推進による世代間につながる交流の場づくり。 週末や長期休みにおける学童保育、子ども教室等の設置。 子どもが安心して遊べる場の提供と管理。 世代間交流による日常的な見守り活動。
環境保全	<ul style="list-style-type: none"> 鳥獣被害対策、多面的機能付与事業等と併せた地域の環境保全活動の推進。 外部委託や有償ボランティアによる草刈等自然保全活動の検討。 活動資金の確保による作業機材の補修と購入。
産業・観光	<ul style="list-style-type: none"> 観光資源が少ない地域であるため、自然や体験や就業体験等の事業の組み立て、ICTを活用し四季を活かした特産物の販売等の検討とそれらの運営主体の検討。 住民のソーシャルビジネスとして月額3万円収益増活動の研修及び実践の場づくり。
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> 組織体制の再構築（課題解決の活動分野と編成の再検討）。 既存事務局の作業機材と地域住民の費用による事務局の強化や育成を図り、当事者意識を醸成する。 自己資金確保のため、受益者負担への理解と協力の仕組化。 企業や大学等との連携による人材育成と、外部支援を得るための具体的な実践の場づくり。 住民ニーズを捉えるための住民同士の話し合いの設計と運営手法の習熟。 他地域や都市部との積極的な交流による交流人口の拡充。
自治会運営	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少や流出が多い自治会等では、将来の生活不安に寄り添った集居自治運営について議論し、地域再生に向けた取り組みを地域運営組織がコーディネートする。 若い世代と中高年層の話し合いの場づくりと世代間連携による集居自治の課題共有の場づくり。 世帯の悩み事や課題を把握するための自治会間の意見交換の場づくりと、共通課題を共同で対応する施策の検討。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 地域運営組織の活動を持続可能なものにしていくためには、組織の役員や、事務局、課題解決分野に参加する人材育成の仕組みと定着を図る必要があります。組織運営のセッションに合わせて、持つべきスキルを明確にして学びと実践を繰り返す環境をつくりましょう。

地域概要
田沢地区は、酒田市東部の旧平田町に位置し、人口は約803人、世帯数が273戸の、農業を主体とする地域です。
当地区では、今年度から4年間でモテモテ事業に取り組むことになりました。昨年4月には千葉県出身の地域おこし協力隊員を迎え、外からの目を活かした意見をいただきながら、地域の魅力発見や課題解決に向けて活動しています。住民と協力隊員でワークショップやきりよしじまへの研修を行う等、主体的に地域づくりに取り組んでいます。



これからの20年

定住人口は確実に減少する！

超高齢社会はますます加速する！

自治体の財政は悪化する！

動けない人が増えてくる

時間がかかる人が増えてくる

支えるマンパワー不足

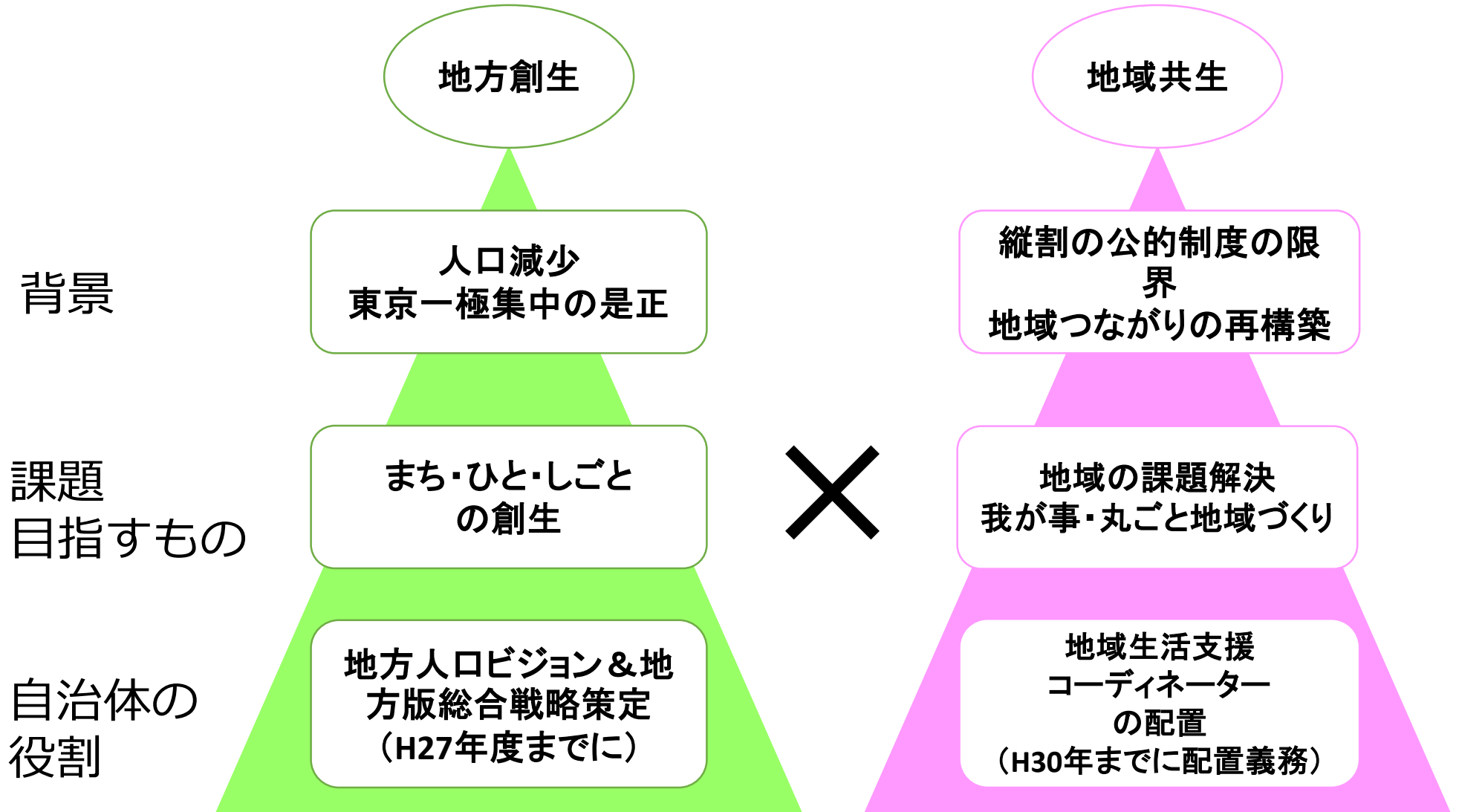
市町村	総人口(人)			市町村	総人口(人)		
	2015年	2030年	2045年		2015年	2030年	2045年
山形市	253,832	240,361	212,197	大江町	8,472	6,421	4,556
米沢市	85,953	72,719	57,720	大石田町	7,357	5,106	3,224
鶴岡市	129,652	105,651	80,892	金山町	5,829	4,373	3,144
酒田市	106,244	87,891	67,776	最上町	8,902	6,354	4,114
新庄市	36,894	30,116	23,018	舟形町	5,631	4,133	2,799
寒河江市	41,256	36,246	29,961	真室川町	8,137	5,421	3,283
上山市	31,569	24,531	17,541	大蔵村	3,412	2,392	1,535
村山市	24,684	18,486	13,055	鮭川村	4,317	2,920	1,762
長井市	27,757	22,022	16,377	戸沢村	4,773	3,328	2,112
天童市	62,194	59,270	52,800	高畠町	23,882	19,687	15,115
東根市	47,768	47,885	44,782	川西町	15,751	11,443	7,655
尾花沢市	16,953	11,581	7,247	小国町	7,868	5,251	3,220
南陽市	32,285	27,272	21,762	白鷹町	14,175	10,860	7,797
山辺町	14,369	12,229	9,636	飯豊町	7,304	5,342	3,620
中山町	11,363	9,292	6,989	三川町	7,728	6,745	5,380
河北町	18,952	15,534	11,868	庄内町	21,666	17,049	12,669
西川町	5,636	3,870	2,409	遊佐町	14,207	10,408	6,975
朝日町	7,119	5,125	3,419				山形新聞より抜粋

1	山形市	0.74
2	天童市	0.64
3	東根市	0.59
4	米沢市	0.54
5	寒河江市	0.52
6	新庄市	0.49
7	酒田市	0.46
8	上山市	0.46
9	長井市	0.44
10	南陽市	0.44
11	河北町	0.43
12	鶴岡市	0.42
13	三川町	0.38
14	高畠町	0.37
15	山辺町	0.36
16	中山町	0.36
17	村山市	0.35
18	庄内町	0.31

19	遊佐町	0.28
20	白鷹町	0.27
21	尾花沢市	0.26
22	大江町	0.26
23	小国町	0.25
24	西川町	0.24
25	川西町	0.24
26	大石田町	0.23
27	最上町	0.23
28	舟形町	0.21
29	朝日町	0.20
30	金山町	0.19
31	真室川町	0.19
32	飯豊町	0.19
33	鮭川村	0.17
34	大蔵村	0.15
35	戸沢村	0.15

自治体別財政力指数

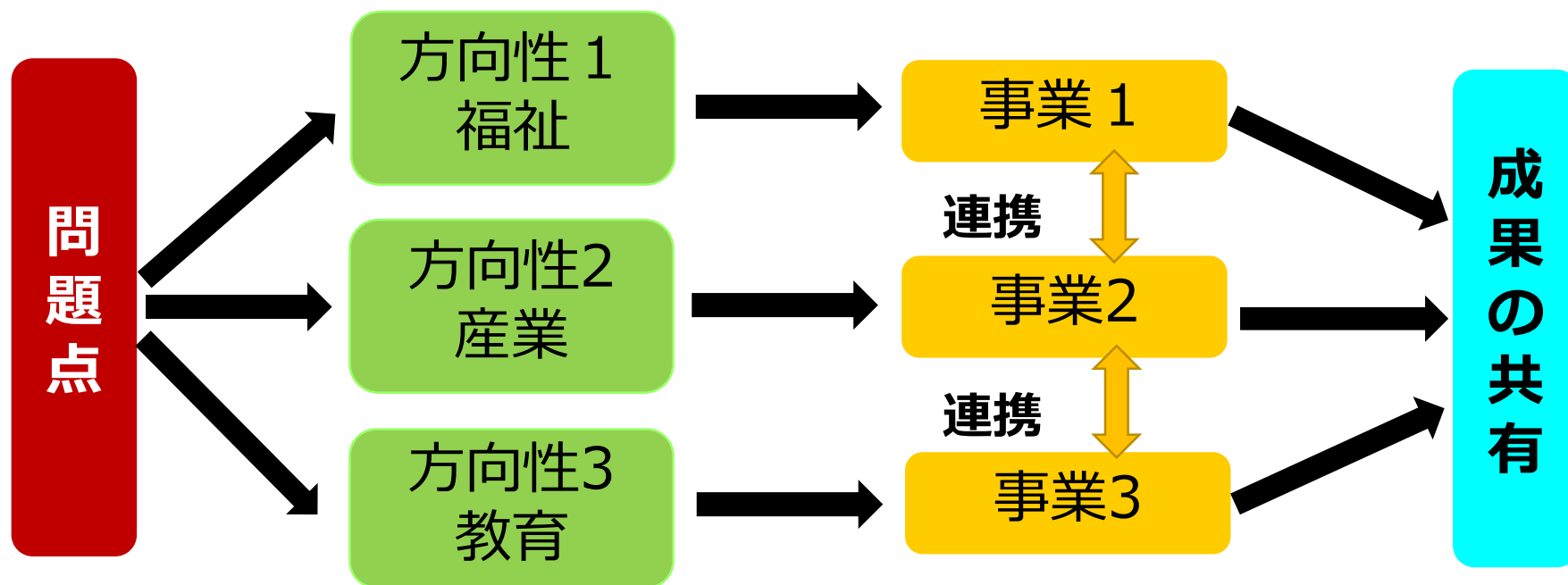
地方創生社会と地域共生社会の協働によるまちづくり



共通のテーマ⇒人口減少・少子化・超高齢化

これによってどのような困りごとが

出てきているか (現実) 今後出てくるか (仮説)



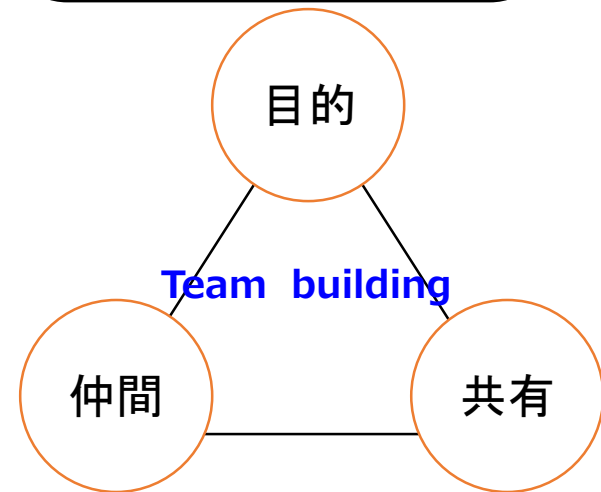
課題解決を複層的に捉え多くの住民参加の仕組みをつくる

地域の合意形成プロセスをコーディネートできる人材確保とその教育

合意形成の流れを作り住民参加を促す



- ### 事務局機能
1. 企画・立案・運営
 2. 事務処理能力 (会計)
 3. コミュニケーション
 4. ファシリテーション
 5. 情報管理
 6. 会議運営・資料作成



1. 研修や講座を通じて住民の学習活動を個々の「生活」に広げて課題解決のスキルへつなげる
2. 学びの理解と認知（実践）の場づくり
3. 自己実現×ミッション志向型（地域のためになること）

協働による地域運営組織の形成に向けた今後

組織形成の合意形成

- ・自治会長連合組織 ⇒まちづくり協議会（地縁組織と志縁組織とのつながり）
- ・施策化 ⇒制度改革（条例、制度の見直し）

活動拠点の合意形成提供

- ・課題解決のために集まる拠点の確保（指定管理・廃校や遊休施設の無償貸与等の検討）

実践活動のエビデンス

- ・課題解決の事業化 ⇒ビジョンの策定（中長期目的（地区計画）＋単一目的（重点or緊急性））

協働の関係

- ・持続性の担保 ⇒資金確保（交付金・補助金・収益活動・会費収入等）
- ・課題共有の場 ⇒円卓会議（相互の事実確認の場・地域間連携の場・協働の質の向上）
- ・人材確保と育成⇒ 組織経営者（世代交代）・事務局機能（コーディネートと健全な事務処理）

※特に組織マネジメントの人材育成は住民レベルで研修機能を持つことは困難である。

ありがとうございました。

